

コロナの感染拡大を何としても収束させ、 安心できる社会を取り戻します。

令和3年度第一回定例会が3月12日に終了しました。新年度の予算審議も行なわれ、一般質問と予算に係る質疑も行いました(中面記載)。

仙台市は法に基づく「まん延防止等重点措置」の重点区域に指定されました(期間は5月5日まで)。この期間中に、感染拡大を何としても収束させるとともに、再度のリバウンドを許さない対策にも取り組む必要があります。公明党仙台市議団として、4月2日に郡市長に緊急要望(第9次)の申し入れを行いました。今後も現場の声をしっかりと聴きながら、必要な対策を提言してまいります。また、ワクチン接種については、今後も皆様へ迅速適切な情報を求めてまいると共に、一日も早い収束を心から願っております。

3月11日で東日本大震災から丸10年を迎えました。2月13日の余震で10年前の恐怖・不安が蘇ったのは私だけではありません。「もう10年」なのか「まだ10年」なのか…ひとりひとりの時間の経過は違います。『10年』という時間軸に注目が集まりますが、ただの通過点です。「人間の復興」「心の復興」を成し遂げるまで、被災された方々に寄り添い続けてまいります。



仙台市議会議員
佐々木まゆみ

山元町 旧山下駅前石碑前にて

常磐線の旧「山下駅」前に設置された石碑を視察。「東日本大震災で最大13メートルの津波高。637名の犠牲者」等の記載がありました。防災対策の強化に努めるとともに、決して風化させることなく、歴史を後世に伝えることが重要です。その後、中浜小学校へ。児童ら90人が校舎の屋上に避難し、来襲する大津波から多くの命を守りました。

平成元年に建てられた校舎は、住民の意見をもとに敷地全体が約2メートルかさ上げされ、避難用の外階段が設置されるなど、津波や高潮の対策が事前に施されていました。震災後、中浜小学校は内陸の坂元小学校と統合され、平成25年に閉校。49年の歴史に幕を閉じました。



佐々木まゆみプロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。
平成23年仙台市議会議員初当選(宮城野区選挙区)。現在3期目。
【仙台市議会】
健康福祉委員会 委員長、人生100年時代調査特別委員会。

f 日々の活動はフェイスブックを御覧ください。



Facebook

生活保護、鶴ヶ谷ショッピングセンターへの支援、 市営住宅建替えについて

令和3年第1回定例会 一般質問 2月17日
令和3年度 予算特別委員会 3月3日・5日



【佐々木まゆみ議員】国内で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されて1年が経過した。仙台市としての一番の課題と解決策は何か。

【郡市長】あの震災から10年を迎える中、これからは特に、心の復興、それからまた記憶の風化防止、この二点の取り組みを重点的にしていく。さらに仙台市内中心部・震災メモリアル拠点整備の検討を進め、防災環境都市・仙台として、震災の経験・教訓の世代を超えた継承と世界への発信に取り組んでまいりたい。

生活保護について

【佐々木まゆみ議員】世間体などを気にして申請をためらう人もおり、中には健康を害して孤立死に至った深刻な事例もあり、困窮者の心情をくみつつ、生活保護の受給に結び付ける取り組みが必要だ。

新型コロナウイルス感染症がおさまれば一定の収入が見込まれるケースも多いことから、稼働能力、車の保有、加入する保険の取り扱い等について一定期間の猶予の留保、また、今国会では「生活が大変窮迫されて必要がある方は、生活保護を受ける権利がある」との答弁があり「弾力的な運用」を支援していく考えも示された。

生活保護は国民の権利であり、保護を必要とする方がためらうことなく受給できるよう、生活保護についての誤った知識・先入観を払拭する広報と、相談しづらいと思われぬよう、一層の当事者に寄り添ったきめ細かな対応を求めるがどうか。

【健康福祉局長】本市では、ホームページに生活保護を受けることは権利である旨を掲載するなど、周知を図っている。また相談への対応については、相談者が申請をためらうことのないよう充分留意しており、引き続き相談者の気持ちに寄り添いながら、きめ細かな対応に努めていく。

【佐々木まゆみ議員】コロナ禍の状況においては、オンラインや郵送、電話でも生活保護の申請が受理される体制も必要と思うがどうか。

【健康福祉局長】昨年4月の国からの通知においては、感染リスク軽減のため、「相談にあたっては、保護の申請意思を確認した上で保護の要否判定に直接必要な情報のみ聴取し、その他の情報は、後日電話等により聴取する等工夫されたい」旨が示されている。この通知内容を踏まえ、感染予防に十分配慮した対応を行ってまいりたい。

ハラスメント対策への支援について

【佐々木まゆみ議員】パワハラ防止法が施行され、職場におけるパワーハラスメント防止のために、雇用管理上必要な措置を講じることが事業主の義務となった。中小企業主は2022年4月1日より義務化となる。声があげやすい相談のツールやSNSを更に活用するなど、相談の手法の拡充を図るべきと考えるがどうか。

【市民局長】本市では、様々な不安や悩みに対応する「女性相談」や「男性相談」、「女性への暴力相談電話」、自立に向けたセミナーの開催や、自助グループの支援などに取り組んでいる。加えて今般のコロナ禍を踏まえ、内閣府では、DVに関する24時間の電話相談やSNS相談を開始するなど、相談体制の強化が図られている。

エシカル消費について

【佐々木まゆみ議員】次に地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動「エシカル消費」(倫理的消費)について、市の認識や取り組みはどうか。

【郡市長】仙台市では、重点施策の一つとして「エシカル消費」の普及・啓発を掲げている。

今後、庁内関係部局間の連携を密にしながら、一人でも多くの方に、フェアトレードや地産地消、そして食品ロスの削減といった行動を積極的にお取りいただけるよう、各般の取り組みに努めていく。

【佐々木まゆみ議員】小中学校などでこのエシカル消費を「持続可能な開発のための教育」(ESD)や消費者教育に位置付けて学習内容に取り入れるべきと考えるがどうか。

【教育庁】学習指導要領において目指している持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成にも通じることで

あり、各学校において、発達の段階や教科等の特性に応じた授業が行われるよう、支援に努めていく。

学校トイレの洋式化について

【佐々木まゆみ議員】本市の整備状況は、令和3年1月31日現在、今年度の整備見込みを含むと、校舎に関しては、小学校62.2%、中学校67.2%。体育館においては小中学校で62%と、徐々に進んできており評価する。

すべての学校におけるトイレ洋式化はいつ頃になるか。

【教育長】学校のトイレ洋式化は、早急に取り組むべき課題であると認識しており、今般、国の経済対策を活用した整備を進めるため、補正予算案にも計上している。

今後も、大規模改修や建替えの時期もにらみながら、校舎、体育館とも、すべての学校で早期に整備が完了するよう、計画的に取り組んでまいりたい。

商店街の経済支援について

【佐々木まゆみ議員】コロナ禍で売上が減少している商店街が多くある。新たな取り組みやイベント事業をどのような形で応援、支援するのか。

【地域産業支援課長】まずは「商店街割増商品券事業」をできるだけ早期に始められるよう調整していく。また「商店街チャレンジ応援事業」を新たに設け、新年度における特例としてイベント助成金の1件あたり上限金額を25万円から35万円に拡充したところである。こうしたメニューと本予算額を十分に活用して商店街の取り組みを後押ししていく。

【佐々木まゆみ議員】

鶴ヶ谷地区に生鮮市場やアバインがある。

鶴ヶ谷ショッピングセンターは、昭和46年に本市が鶴ヶ谷団地造成に於ける中央センターの一部として1業種1店舗の条件をもとに出店者を公募し区分所有の店舗として個別に分譲されたものである。本市も開業当時から様々な携わってきたと思うがこれまでどのような支援、指導をされてきたのか。

【地域産業支援課長】アバインを運営している鶴ヶ谷ショッピングセンター協同組合については、組合の設立や運営支援等を行う宮城県中小企業団体中央会と連携しながら、当該組合が実施する様々なソフト事業を支援してきた。具体的には商店街イベント助成金を活用して、地域のコミュニティ団体との共催による「つるがや元気まつり」を平成30年度まで支援してまいった他、専門家を招いて店舗運営に関する勉強会を開催した際には、その内容に応じたり、費用を負担するなどのサポートをしてきた。

【佐々木まゆみ議員】鶴ヶ谷地域は、造成して約半世紀が経過し、市内でも高齢化率が進む地域だ。

その中で、地域密着した事業展開やお客様の立場にたつての店舗づくりをしてきたアバインだが、組合数も脱退や営業不振、または廃業したりと、当初の三分の一まで減少してきている。今後の鶴ヶ谷地域活性化に向けて、更なる支援を要望する。

【産業政策部長】鶴ヶ谷ショッピングセンターは、鶴ヶ谷地域に長年ある商業施設として、幅広いニーズに対応しながら、地域住民が交流できるイベントも開催するなど、地域コミュニティという観点からも大いに貢献してきたものと認識している。コロナ禍における厳しい経営環境にはあるが、今後の地域作りに果たす役割に依然として重要であるので、現在準備を進めている割増商品券はもとより、国や県、本市の様々なメニューを積極的にご活用頂けるよう支援していく。

【佐々木まゆみ議員】市長からアバインに対するご見解を伺う。

【郡市長】私もアバインでお買い物させて頂くこともたびたびある。アバインの皆様方がどのような形でお客様と対応されてこられたのか、今のやりとりの中で思いを描かせて頂いた。しっかりとお店を営む方々も地域の方々、それ以外の方々も消費マインドが向上するように努めて参りたい。

アスベスト関連

【佐々木まゆみ議員】民間建築物に係るアスベスト含有調査について、これまでの支援事業の取り組み状況を伺う。

【建築指導課長】市民の安全・安心を確保するとともに新たなアスベスト被害を未然に防止するため、建築物のアスベスト対策に関し、パンフレットやホームページ等により周知啓発を図ると共に、平成18年度から補助事業を実施してきている。

市営住宅関連

【佐々木まゆみ議員】令和2年度に改定された市営住宅の長寿命化計画の内容について伺う。

【市営住宅管理課長】外壁改修などの予防保全的な改善を実施することに加え、新たに共用部の照明設備のLED照明への更新を行うものだ。また、より多くの住戸のバリアフリー化を推進するため、対象住戸を拡大して、入居者が住みながら行うバリアフリー改善に新たに取り組むこととしている。(4面に続く)

【佐々木まゆみ議員】令和3年度、どこの市営住宅にどのような改善をされるのか、またエレベーター設置工事はどこの市営住宅で実施するのか。

【市営住宅管理課長】新年度に実施するバリアフリー化工事については、バリアフリー仕様となっていない住戸にお住まいで、修繕を希望される世帯400戸を対象に、玄関やトイレへの手すり設置などの工事を実施する。エレベーター増設工事については、高砂西市営住宅に計2基設置する。

【佐々木まゆみ議員】鶴ヶ谷第二市営住宅団地再整備について、現在の進捗状況はどうか。

【住宅政策課長】同団地は昭和40年代に建設された市内でも最も古い市営住宅で、今後バリアフリー化された10棟の市営住宅に建て替える事業だ。建て替えにあたっては、敷地を5つの工区にわけて工事を進める予定であり、令和16年度の完成を見込んでいる。第1工区は今年の夏から敷地南側部分の既存住棟を解体し、その場所に、令和4年度から2棟の住棟を新築する予定で、現在それらの設計を進めている。

【佐々木まゆみ議員】解体工事は今年夏頃から始まる。西側は小学校、北側は鶴ヶ谷第二の既存市営住宅、敷地

周囲には戸建て住宅が建っており、市営住宅にはエアコンもない。何らかの対策を考慮すべきではないか。

【住宅政策課長】第一工区の解体にあたっては、解体予定の18棟を一齐に撤去するのではなく、工事車両の侵入経路等を勘案しながら、ここの住棟について解体する順序、時期を検討する予定だ。

周囲の建物と近接する住棟については、夏場を避けた工期の設定が可能か検討すると共に、音、粉じんの周囲への影響を低減させるため、解体する建物の周囲を防音シートで被うほか、仮囲いの高さを工夫するなど、可能な限り周辺への配慮に努めて参りたい。

【佐々木まゆみ議員】市営住宅内のトラブル解消、安全確保に向け、各市営住宅へ防犯カメラの設置が必要と思うがどうか。

【市営住宅管理課長】防犯対策上、一定の効果を期待できるが、入居者のプライバシーの観点から夫考慮する必要があると考える。引き続き自治会や入居者の皆さまとも話し合いを進めながら、防犯カメラの設置・導入の可能性も含めて、皆さまが安心して生活していただけるよう対策を検討していく。



郡仙台市長に「コロナ禍における女性の負担軽減と適切な情報提供に関する緊急要望」を提出。



公園に注意喚起板設置 (2月12日)

鶴ヶ谷4丁目東公園のテニスコートにて犬をドックラン用にご利用されている方がおり、注意喚起板を設置しました。



福田町駅バリアフリー申入れ (2月10日)

高砂地区町内会連合会、みんなにやさしい福田町駅をつくらう会のみなさんと一緒に申入れを行いました。福田町駅にはエレベーターが整備されていないうえ、駅周辺の道路も狭く、改善を求める署名活動を行ってきました。今般、駅を200メートル西へ移設しバリアフリー化をはかる方針が示されたことを受け、早期実現に向けての要望をおこしました。

仙台市からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症ワクチン

●4月は「個別接種」と「集団接種」は行いません。
●予約はまだ受け付けておりません。

仙台市新型コロナウイルスワクチン接種専用コールセンター TEL0570-05-5670 受付時間 8:30~19:00